

新型コロナウイルス感染リスクを冒してまでやること？ 営業列車のつり革・手すりを現場社員に消毒させる！？

5月28日、とある職場に「『お客さまに安心してご利用いただく取り組み』車内消毒作業を行うメンバー募集」という内容の掲示が貼りだされました。以下が掲示の抜粋ですが、この取り組みを行うにあたり、様々な問題点が危惧されています。

掲出された掲示【イメージ】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言は解除されましたが、4月に続いて5月も大幅な減収が見込まれており、危機的な状況が続いています。

今後、当社が生き残っていくためには、お客さまのご利用を増やしていくことが必要不可欠ですが、新型コロナウイルスの感染を恐れて電車のご利用を控えているお客さまも少なくありません。

このような状況を踏まえ、お客さまに少しでも安心して〇〇線をご利用いただくために、私たち社員一人ひとりがすぐにできることとして車両の手すりやつり革の消毒を行いたいと考えております。

つきましては、下記のとおり車両の消毒を行うメンバーを募集しますので、振るっての応募をお願いいたします。

1. 実施期間：2020年6月1日（月）以降しばらくの間。
2. 勤務：基本的に「変形」勤務として時間内で実施します。
3. 作業内容：〇〇線の営業列車内において、お客さまのご利用が少ない日中時間帯に車内の手すりやつり革の除菌作業を行います。

(以下省略)

【危惧される問題点やリスク】

- ・政府による緊急事態宣言が解除され、全国での新型コロナウイルス新規感染者数は減少しているが、現在も新規感染者が発生しており、感染リスクが十分に払拭されていない中でこの取り組みを行えば現場社員が新型コロナウイルスに感染する恐れがある。自ら新型コロナウイルス感染の可能性を高める。
- ・この取り組みで現場社員に新型コロナウイルス感染者が出た場合の責任の所在が明らかにされていない。
- ・例として取り組みに10名参加⇒1名が感染⇒参加した10名が2週間自宅待機⇒休日出勤が増加する事態に。このことから、列車運行に必要な要員を確保できず運休や減便が発生し、社会的インフラの維持に重大な支障を及ぼす恐れがある。
- ・5月26日発出の東京支社危機管理本部指示243号に「3密（密閉・密集・密接）回避を継続すること」と記載されているが、その内容とは逆行しており、現場の危機管理能力が極めて低いことが露呈されている。

新型コロナウイルスの猛威は現在も止まりません。その中で、新型コロナウイルスを恐れているのは利用者だけではなく、全システムの現場社員も同様です。掲示序盤に「大幅な減収が見込まれており、危機的な状況が続いている」「今後、当社が生き残っていくためには」と記載し、収入に関する項目を強調しています。営利企業として生き残りを図ることは理解できますが、収入に関する項目ばかりを強調し、現場社員のことを全く考えない経営姿勢に現場からは怒りの声が多く寄せられています。緊急事態宣言解除後の第2波に対するリスクなど様々な問題点が想定される中、自ら感染リスクを高める取り組みを行うことは現場社員の「生命」と「健康」を蔑ろにして安全配慮義務に欠けていると言わざるを得ません。

社員の「生命」と「健康」が何よりも最優先！各機関と連携し、社員の「生命」と「健康」を無視した取り組みの即時中止を求めます！